

心電図検査

設問 1.

次に示す 12 誘導心電図(図 1-A ~ 図 1-E)にみられる心室性期外収縮 (PVC) のうち、右室流出路起源と**考えられるものはどれか。**

1. 図 1-A
2. 図 1-B
3. 図 1-C
4. 図 1-D
5. 図 1-E

設問 2.

図 2 に示す心臓超音波画像は、脳梗塞患者 (80 歳代、男性) から記録された心尖部 4 腔断面像である。この超音波画像所見から推察される 12 誘導心電図波形として、最も**適当と考えられるものはどれか。** 図 2-A から図 2-E の中から 1 つ選べ。

1. 図 2-A
2. 図 2-B
3. 図 2-C
4. 図 2-D
5. 図 2-E

設問 3.

70 歳代女性。主訴は労作時胸痛。この患者にマスター2 階段負荷試験を実施した際、負荷終了直後から約 10 分間程度 12 誘導心電図に ST 変化を認めた。

図 3-A：負荷直前、図 3-B：負荷直後、図 3-C：負荷後 1 分、図 3-D：負荷後 3 分、
図 3-E：負荷後 5 分、図 3-F：負荷後 10 分を示す。

次の文章のうち正しいものはどれか。

1. 冠動脈に有意(75%以上)狭窄の存在が疑われる。
2. ST 低下を認めた誘導から、心筋の虚血領域を判定する。
3. 運動負荷試験ではⅡ、Ⅲ、aVF 誘導で ST 低下を認めるケースが最も多い。
4. 胸痛が無ければ ST 変化はみられない。
5. ST 低下の程度や出現時間は、冠動脈病変の重症度とは無関係である。

設問 4.

図 4-A から図 4-E に示す 12 誘導心電図について、各々関連性のある事柄の組み合わせとして誤っているものはどれか。

1. 図 4-A — QT 延長 — 低カリウム血症
2. 図 4-B — 陳旧性心筋梗塞 — 加算平均心電図
3. 図 4-C — Brugada 症候群 — 右室拡大
4. 図 4-D — WPW 症候群 — 房室回帰性頻拍 (AVRT)
5. 図 4-E — 心房細動 — 左心耳血栓